

鳥取県内のエコスクールパイロットモデル事業9校における
環境配慮型設備と教室計画に関する現状分析と教育施設計画への応用

発表者

細田智久 米子工業高等専門学校建築学科 准教授

概要

未来を担う子どもたちへの環境教育を通じて、将来の環境に優しい生活スタイルを根付かせる取組みが進んでいます。その中で学校校舎も、「エコロジーな学校」という意味の「エコスクール」に対して国が整備費用を補助しており、太陽の光、風力、雨水などの自然の力を活用するエコな設備を盛り込んでいます。この実態を調査し、快適な教育施設の整備に向けた知見をまとめ、実際の県内の教育施設整備にも携わっています。

目的

地域の教育施設の質的な改善と児童生徒の快適性の向上を目指し、
県内のエコスクール先進例の実態把握を進め、地域の教育施設づくりに活かします。

調査方法 エコスクールの実態調査

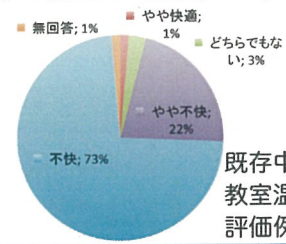
- エコスクールにおける
エコ設備の稼動状況・
環境教育活用の把握



- 教室内の温度・湿度・
照度の計測、
木材の利用把握

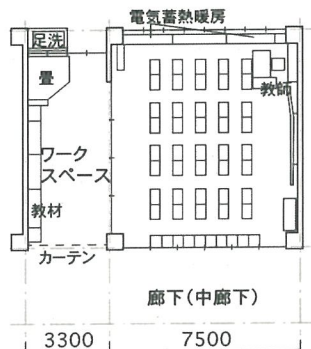
既存の学校施設の実態調査

- 既存校の快適性に関する
児童生徒へのアンケート
夏季の教室内の温度(1-3年)



分析方法 エコスクールの平面分析・評価

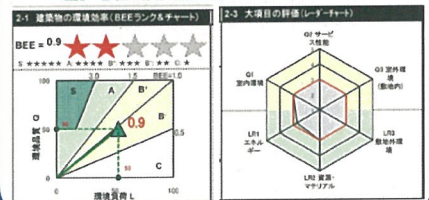
- 平面形状に由来する
通風性能、使い勝手を評価



CASBEE学校を用いた検証

- 文科省が公開するツール
によって各学校の環境
負荷低減効果を評価し、
改善箇所も見つけ出す

CASBEE学校-既存



研究成果の応用方法

- 学校施設の移転新設時や改修時のアドバイスを通じて、快適な学習環境の実現に向けて成果を応用
例. 江府中学校建設準備検討委員会 専門委員、県民チャンネル セミナーによる啓発活動
- 既存校舎に対する具体的なエコスクール化、快適性の向上への改修提案を作成

【来場者へのメッセージ】 エコスクールの調査分析から得られたエコ設備の詳細な状況や児童生徒の快適性の向上に関する知見は、地域の教育施設計画の質的な改善に役立っています。細田研究室では、これらの知見に基づいて、江府町や伯耆町の地域施設の計画づくりに携わっています。

連絡先: 米子工業高等専門学校建築学科 准教授 細田 智久

米子市彦名町4 4 4 8 TEL. 0859-24-5181 E-mail: hosoda@yonago-k.ac.jp

分野

鳥取県環境学術振興事業

プレゼンタイム

無